

# 無責任 五十八号

雇われの戦士みたいな人生で君が勇者と証明しよう

まっくろな水におぼれるゲーム機もテレビもぼくもみじめな朝は

ふっかつのじゅもんをすべてやきすてたきみのうなじがしろかったから

排水溝に流されていくああかつてゆっしやであったはずのぼく

数学の授業がいつもつまらないザナルカンドの夜に溶け込む

胃の鈍い痛みのなかで夜を見るおおしんでしまつとはなさけない

人生の段差でいつもつまずいて死なない世界その完成度

ぼうけんのしょその1をけしてしまつ例年三万人のひとびと

塊に巻き込まれてみたかった星になれない運命だから

「おつかれさまでした このまま でんげんを おきりください」「さよならせかい

むせきにん ごじゅうはちごう  
せきにんしゃ しみずらくは(ら)  
ふくせきにんしゃ うきしま(う)  
はっこうび 2016ねん12がつ1にち  
はっこう むせきにんぞーん

<http://borderspoem.seesaa.net/>

う ら う ら う ら う ら う ら